

## 受講生の感想 ～國學院大学法科大学院生とともに刑事模擬裁判員裁判を体験～

平成24年9月28日 渋谷区立鉢山中学校3年生

- 始めは執行猶予だと思っていましたが、他の人と話しているうちに自分の考えが変わり、実刑に。裁判では判決という一つの答えを出さなければならず、とても疲れることだと思いました。
- 今回の体験はとて面白い体験だったと思いましたが、私はたとえ裁判員だとしてもあまり裁判には出たくはないと思いました。
- 奥まで追求していろいろな考えを出し判決を決めるということはすごく難しいことであったが、学んだことも多かった。
- 証人尋問の際、質問をどう工夫したら結論に続けることができるかを考えていくのが大変でした。グループ内でみんなが納得のいく結論を出せたので、判断が正しかったのかはわかりませんが、良い話し合いができた。
- 私は、裁判などに少し興味がありました。だから今回模擬裁判を受けられてすごくうれしかったです。大人1人を殺してしまうことの重大さや、罪や刑罰について深く考えることができました。
- 初めての体験だったので、何もかもが新鮮だった。
- 今回裁判についての授業でたくさんのことを学びました。刑罰はおもければよいわけではないことを学びました。判決には正解はないので、裁判は難しいと思いました。
- 正直、今回の授業を受ける前は少し不安でした。でも、事前授業で、中学生でも理解できるようにやさしい言葉で説明してくださったので、話を理解することができました。
- たった一つの事件の中にも、多くの考え方があることに気付かされました。感じ方は様々で人の数だけ考え方があるということ。自分の意見を持つことの大切さ。
- 人間の気持ちをいろんな立場で考えて他の人の意見を聞く中で、新たな考えが生まれ、人の気持ちをより深く考えることができました。同じ裁判を見て出した判決が、それぞれ異なったのでとても驚きました。家族や友達にも今回の模擬裁判で学んだことを話して裁判員制度について知ってもらいたいです。
- 実際に裁判を見てみると、被告人や証人などそれぞれの表情や仕草など資料に書かれていなかったこともあった。いろいろな視点から1つの事を見る、とくことは日常ではあまりないので、今回の模擬裁判はとて面白い経験になり楽しかったです。
- 裁判の事を詳しく知らなかったなので、本番はすごく緊張しました。最後の判決では、3チームが同じ裁判を見ていたけど3チームとも違う判決が出て面白かったです。
- 自分はこれまで裁判員制度についてあまり興味がありませんでした。しかし、この勉強をしていくうちにだんだん興味を持っていき、今では裁判員制度が大好きになりました。これから。公民を勉強していきますが、今回の体験で学んだことは絶対に役に立つので、今後この裁判員制度に対する知識と理解をさらに深めていきたいと思います。
- 法科大学院生のプリントを持っている手がブルブルと震えていたのを見て、「ああ誰でも緊張するのか。」と安心しました。
- 裁判や裁判員制度について全くわかりませんでしたが、実際にやってみるととても難しいものだと知りました。國學院の法科大学生はやっぱりすごいなと思います。検察官や弁護人の方がすごい迫力で見ていて楽しくなりました。
- 別室でチームごとに話し合いをしていたとき、みんなの意見を聞くことができ、とても参考になりました。他の人の意見を聞けるというのは裁判員裁判の大きなメリットだと思いました。もし、自分が成人してから裁判員に選ばれたら、積極的に参加しようと思いました。